

新しい公共支援事業の成果等報告（新しい公共の場づくりのためのモデル事業分）

平成24年度中間報告書

1 事業実施内容

| | | |
|-----------------------|---|-----------------|
| 事業名 | 島ヶ原地区の林業資源を活かした木工体験ツアーの推進 | |
| 分類 | ■一般枠 □NPO等支援重点化枠 | |
| 事業実施主体名 | 穂積製材所プロジェクト実行委員会 | |
| 事業概要 | 三重県伊賀市島ヶ原地区の製材所を拠点に都市住民を対象とした木工スクールを開設します。地域産材を活用した「木工体験」と、林業の現場で森林問題について学ぶツアーとしても展開します。地域産材製品（家具等）のブランディングや製品開発、そして地域の主婦グループと連携した木工作品以外の特産品の研究開発にもチャレンジしたいと考えています。 | |
| 委託額 (内訳は別紙参照) | 平成23年度 | 750,000円 |
| | 平成24年度 | 2,250,000円 |
| マルチステークホルダー（会議体）の取組状況 | ●協働事業参加組織 | |
| | NPO法人「伊賀・島ヶ原おかみさんの会」、島ヶ原木材工業有限会社 | |
| | ●会議の実施状況 | |
| | 実施月日 | 会議の議題 |
| | 6月14日 | 地域との今後の関わり方について |
| 8月3日 | 協働事業参加組織との連携強化について | |
| 取組内容 | <p>●これまで取り組んできた内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木工体験ツアー実施(9月16日～17日) ・木工製品等の試作(10作品)、ブランディングの検討 ・地域住民への事業説明会の実施 ・製材所内の敷地整備 → 現場事務所設置、工房整備のための図面作成 ・本格的事業展開に向けての検討、準備 ・地域イベントでの木工製品販売、体験プログラムの実施 ・地域での研修会、交流会会場として現場事務所を活用 <p>●当初(採択時)に計画していた内容から変更したこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアスタッフ説明会を地元住民への説明会へ変更 →運営スタッフの確保ではなく、地域住民からの協力を得ることを優先したため ・木工体験ツアーの実施時期を6月からではなく9月からへ変更 →宿泊スペースの気候条件を考慮し、気温の高い夏ではなく9月からの実施へ ・広報活動の一環としてグッドデザイン賞へ応募 →県内・県外(近隣地域)への幅広い告知と、デザイン面訴求の必要性を目的とし、社会的に認知度の高いグッドデザイン賞へ応募することで、メディアへの発信力と当活動のブランド力を強化。 <p>●現状の成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場事務所を設けたことで、来訪だけでなく研修会会場としても活用され、地域住民の方々との交流が増えた。 ・木工製品の販売を実施したことで、今後のブランディングや運営体系(価格設定など)について検討する材料を手に入れることができた。 ・気候によってツアーの参加者が変動することが予想され、ツアー時期について再考の必要があると感じている。 | |

| | |
|-------------------------------|---|
| <p>今後（平成 24 年度下半期）の取組予定内容</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・木工体験ツアーの実施（宿泊型、日帰り型） →9月16日（日）、17日（月・祝）に今年度1回目の木工体験ツアー（宿泊型）を実施。森林学習と木工体験を絡めた総合的な体験学習ツアーとした。また、協働事業参加組織との協働事業としての側面を強めたプログラムとし、ツアーの内容については、ツアー時期の気候に合わせ、宿泊型と日帰り型を柔軟に対応できる体制づくりを検討する必要があると感じている。 ・木工製品の試作品検討、開発 →来年度の本格事業展開に向け、木工製品の試作品を作り販売まで行う。木工だけでなく家具、遊具と、幅広いニーズに応えられる技術習得を目指す ・製材所内の敷地整備 →家具づくり体験ツアーの活動拠点として木工工房の整備を継続。近隣の木工家のアドバイスを受け、木工機械の配置まで考慮に入れて図面を作成。また、必要と考えられる木工道具についても購入し準備を進める。 ・地域活動団体との連携強化 →地域主婦グループとの連携強化のため、「食」に関する木工製品の試作制作を検討。また、現場事務所の研修会場としての活用も積極的に受け入れ。 ・地域イベントの実施 →地域との関係性構築のため、地域住民参加型のイベントを複数回実施。木工と絡めることで認知度向上に寄与。 ・森林問題や林業の他の取組みについての研究、学習 →地域で活動する森林施業 NPO と連携し森林学習プログラムを検討。また、平成 25 年度以降の参考事例となり、かつスタッフの知識・技術の向上を目指すため、他団体の取組みについての視察を実施予定。候補先として香川県にある「キトクラス」を想定。 |
| <p>平成 25 年度以降の見通し</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・木工体験ツアーの実施、運営 →定期的に木工体験ツアーを実施予定。森林問題についても学ぶことのできるプログラムでツアーを展開。季節ごとにプログラムを変更し、いつ来ても楽しんで頂けるツアーを目指します。 ・オリジナル製品の開発、販売（ブランディング） →「製材所ならではの家具づくり」をブランディングの柱とし、誰もが気軽に手作り家具づくりを楽しんでもらうことを目的とした商品開発とアイデア・環境の提供を行います。 ・低所得者（主に若者）のための低価格住宅の設計 →若者が地域に入りやすくするため、低所得者でも建てられる住宅について検討。地域連携を目指し、地元の工務店との協働かつ地域産材を活用した住宅づくりを目指す。 ・地域活動団体との連携強化 →地域に愛されるプロジェクトを目指し、製材所の敷地を活用した各種ワークショップ・イベントを地域の活動団体の方々としかけていきます。 ・森林学習のためのマニュアルづくり →製材所の考える「森林学習」について、独特の視点によるマニュアルを制作予定。森林問題だけでなく、製材のプロセスや木工のポイントなど、森林に関するオリジナルの冊子にすべく検討。 |

2 成果の達成状況等

| | | | | | |
|---|--|---|---------------------------------|-------------------------|--|
| 平成 24 年度に達成しようとする成果 | ①定期的な(月1回)木工体験ツアーの本格的な展開により運営基盤を強化し、次年度以降の事業展開につなげる。 ②木工製品等(椅子、本棚、玩具など)の制作を本格展開し、一部は展示販売を進め、次年度以降の事業展開につなげる。 | | | | |
| 具体的な指標の達成状況等 | 項目 | 当初目標設定 | 9月末日の達成状況 | 平成 25 年 3 月末達成見込み | |
| | ①木工体験ツアー参加組数 | 目標値(4回実施、合計12組) / 現状(2回実施、合計15組) | 2回実施、合計15組が参加 ※今年度は9月よりツアー開始 | 4回実施、合計25組が参加 | |
| | ②製材所全体の整備 | 目標値(工房の充実、道具のマニュアルづくり) / 現状(木工工房内の整備作業、工房壁面の制作1/4面と作業台の制作) | 現場事務所建設、木工工房整備図面作成、運営マニュアル内容検討 | 木工工房整備完了、道具利用運営マニュアルの完成 | |
| | ③木工製品の制作 | 目標値(10製品) / 現状(試作2作品) | 試作15作品制作 | 試作20作品制作 | |
| | ●成果指標の達成状況 | | | | |
| | ・木工体験ツアーについて →当初8月開始の予定だったが、気候を考慮に入れ、涼しくなる9月を第1回として計画。定員6組に対し6組の応募あり。地域でのチラシ配布だけでなく、facebookでの告知が効果的であったと考えられる。 ・製材所全体の整備 →プロジェクトの活動拠点として現場事務所を設置。活動が円滑になっただけでなく、地域の方の研修会会場、交流会会場としても活用されている。これは地域の活動団体である伊賀・島ヶ原おかみさんの会と協働体制を組んでいることが大きな理由であると考えられる ・木工製品の制作 →「端材の積極的な活用」「製材した板と簡単な工具のみでできる家具」をテーマとして木工製品を試作検討中。9月末時点で15製品の試作を実現。 | | | | |
| ●課題 および その改善方針 | | | | | |
| ・スタッフの育成 →学生スタッフが中心であるため、ノウハウの継承や継続的な育成を行っていく状況にある。そこで次の担当者に引き継いでいくためのマニュアルづくりや活動の記録方法の工夫が必要であると感じている。 ・プログラムの充実 →ツアーやイベントの定期的実施のため、予め複数のプログラムを用意しておくことが重要 ・地域との連携強化 →まずは認知度向上、続いて活動への参加につなげていくため、各種広報の活用や告知方法についてしっかりと検討し直す必要がある。 ・独自製品の開発 →他団体との差別化を図るため、「製材所ならではの家具づくり」として参加者が気軽につくることができ、かつアイデアに富んだ作品の制作を常に心がける。 | | | | | |
| 現状の自己評価 | 評価ランク □S:特に優れた成果が得られた ■A:優れた成果が得られた □B:一定の成果が得られた □C:限定的であるが成果が得られた □D:成果が得られなかった (該当する評価にチェックを付けてください) | | | | |